

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2016.8.1～8.31)

## □図書受入

|     | 和 書 | 洋 書 | 計  |
|-----|-----|-----|----|
| 購 入 | 10  | 10  | 20 |
| 受 贈 | 8   | 0   | 8  |
| 合 計 | 18  | 10  | 28 |

## □閲覧サービス

### 閲覧

|      |     |
|------|-----|
| 開館日数 | 17日 |
| 閲覧者数 | 52名 |
| 貸出図書 | 7冊  |

### コピーサービス

|    |     |        |
|----|-----|--------|
| 学外 | 14件 | 2,223枚 |
| 学内 | 3件  | 125枚   |

## 日 誌

- 2日 夏季休暇開館体制（～9月15日，期間中は土曜休館）
- 3日 事務会議  
月例研究会  
Felix Jawinski (Doctoral candidate, University of Leipzig, 客員研究員) “Nuclear Labor (ers) in Contemporary Japan: Presenting the Approach and First Fieldwork Findings” (通訳: 鈴木玲), コメンテーター: 平林祐子氏 (都留文科大学)
- 8日 社会問題史研究会
- 19日 丸善撮影 (昭和戦前期プロレタリア文化運動資料研究会, 対応: 立本, ～31日)
- 23日 大原社会政策研究会 (第25回)  
田中麻衣子 (東京大学大学院教育学研究科博士課程) 「「居場所」概念による実践の構成——規則の語りと当惑の経験に着目して」

法政大学大原社会問題研究所閲覧室等利用案内 (抄)

【利用資格】 どなたでもご利用いただけます。

【開館時間】 〈平日〉9:00～16:30 (予約制)

夏期休暇期間 (8月上旬～9月中旬) は9:00～16:00

\*必ず事前にFAXやメールでご来館日, 閲覧資料をお知らせください。11:30～12:30は受付ができません。出納受付は閉館30分前までです。土曜日は原則閉館となります。開館日については, ホームページでご確認ください。

【複写サービス】 〈依頼コピー〉40円 (60円) /枚

〈セルフコピー〉10円/枚

〈セルフ撮影〉10円/枚

〈プリンター印刷〉10円/枚

\*資料の複写をご希望の場合は, 複写が可能かどうかを係員にお尋ね下さい。依頼コピーは1枚40円ですが, 資料の状態によって特別な対応を要するものは1枚60円です。セルフコピーは状態の良い戦後の図書, 雑誌に限ります。貴重書, 劣化の激しい資料, 製本新聞は複写できません。撮影の際は, フラッシュ撮影はしないで下さい。

## 【館外貸出】

|      | 法政大学教職員<br>研究員・大学院生 | 学外者 (学生は除く) |
|------|---------------------|-------------|
| 貸出冊数 | 10冊                 | 5冊          |
| 貸出期間 | 3ヶ月                 | 3週間         |

\*学生は館内閲覧のみ, 学外者の貸出は貴重書を除く図書のみです。

## 【非来館サービス】

〈文献複写〉上記複写料金+送料実費で行います。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数は3冊まで, 期間は1ヶ月です。

## 【利用ガイド・見学】

\*ゼミ・授業の1コマとして, また, グループ・個人を対象に随時行っています。事前にご連絡下さい。併せて, 当研究所ホームページもご覧下さい。

<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

大原社会問題研究所雑誌

No.698 (2016年12月号)

2016年12月1日発行

定価1,000円 (本体926円), 年間購読料12,000円

編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042 (783) 2305

# 投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介（調査報告）」を募集しております。下記の投稿規定と執筆要領に基づいてご投稿ください。 [2015.11.25 改定]

## 投稿規定

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として 20,000 字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字以内の要旨 3 部、③表題紙 2 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所  
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

## 投稿原稿 執筆要領

1. A4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワープロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさに、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表1 入れる】等と手書きで指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさに全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、図書の場合、著者名・発行年・書名・出版社名の順に記述する。雑誌論文の場合、著者名・発行年・論文名・雑誌名・巻号・ページ数の順に記述する。ただし、他の記載方法も可とする。

### 【記載例】

榎一江（2014）「日本製糸業における労務管理の生成とジェンダー」榎一江・小野塚知二編『労務管理の生成と終焉』日本経済評論社。

原伸子（2012）「福祉国家の変容と子どもの貧困——労働のフレキシビリティとケア」『大原社会問題研究所雑誌』649 号、30-46 頁。

Suzuki, Akira (2012) "The Limits and Possibilities of Social Movement Unionism in Japan in the Context of Industrial Relations Institutions," in Akira Suzuki (ed.) *Cross-National Comparisons of Social Movement Unionism: Diversities of Labour Movement Revitalization in Japan, Korea and the United States*. Bern: Peter Lang.